



周防大島中だより

HP アドレス <http://www.sea.icn-tv.ne.jp/~sojhp/>



周防大島町立周防大島中学校
2024年9月4日
■ 第 5 号 ■

学校教育目標：ふるさとを愛し、幸せな未来を拓く生徒の育成～自ら考え、判断し、行動する生徒～

2学期の開始にあたり

*9/2（月）始業式校長式辞より抜粋

44日間という長くて、あっという間の夏休みが終わりました。この間、学校へ大きな事故やトラブル等の報告はありませんでした。今、こうして皆さんの明るい表情を確認できたこと、2学期を迎える上でこれほどの喜びはありません。

さて、さかのぼること44日前。1学期の終業式で私は皆さんに、学校教育目標の2つのキーワード「ふるさと」と「幸せな未来」の話をし、2つを実現するための夏休みにしてほしいという思いを届けました。それがどの程度果たせたのか、皆さん一人ひとりで評価は異なるところでしょうが、この夏休み、皆さんの「ふるさとを愛する」そして、「幸せな未来を拓く」姿をたくさん目にすることができました。



きっと、私の知らないところでも、皆さんが頑張った場面がたくさんあったことは、容易に想像できます。良い形で2学期につなげることができるのではないかと期待しています。

さあ、いよいよ激動の2学期です。3つの学期の中で最も長い期間であるとともに、各学年ともに様々な『転換期』とも言える大切な時期です。

3年生は、“中学校生活最後の…”という枕詞が付け加えられると同時に『受験生』と呼ばれる機会が増え、次の進路選択を見据える時期になります。

2年生は、部活動や生徒会等、3年生からバトンを受け継ぎ、学校を動かす中心的存在となる時期になります。

1年生もいつの間にか新入生と呼ばれなくなりました。周防大島中生徒の一員として位置づけられ、責任と役割が一つずつ増えてくる時期になります。

そのような、皆さんそれぞれの成長にとって大事な2学期を過ごすために、まずは、6日後に行われる体育祭を皆の手で成功させ、2学期への弾みをつけていきましょう。

皆さんの活躍と成長が1学期以上に見える学期となることを期待し、2学期始業式の式辞といたします。

令和6年9月2日 周防大島中学校長 吉中 孝志

◇お知らせ：学校評価アンケートのご意見の中に、学校から配付される学校だよりが白黒で見づらいというご意見がありました。学校だより発行後には、学校ホームページにも学校だよりをカラーで掲載していますので、是非、学校ホームページでご確認ください。

よいよいよ周防大島中をめざして

～学校評価アンケート（7月）結果より～



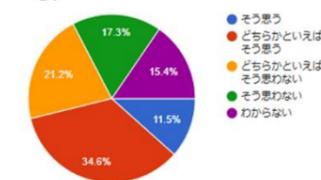
7月実施の学校評価アンケート結果を分析しましたのでお知らせします。下表は、生徒・保護者それぞれの肯定回答率（質問に対して「そう思う」「どちらかというと思う」に回答した人の割合）を示しています。

生 徒		保 護 者	
質問項目	肯定回答率	質問項目	肯定回答率
① 私には良いところがある	78.8%	①学校は、わが子を通わせたいような学校づくりに取り組んでいる	59.7%
② 私は、自分のふるさとを大切に思っている	83.2%	②学校は、学校の生徒の様子を学校だよりやホームページ等で情報発信している	73.1%
③ 私は安心して学校生活を過ごしている	76.1%	③学校は「わかった」「できるようになった」を実感できる学習指導を行っている	46.1%
④学校は、生徒が「自ら考え、判断し、行動する」ことを尊重している	79.6%	④子どもの家庭での学習（塾などを含む）は、充実している	44.2%
⑤学校は「わかった」「できるようになった」を実感できる学習指導を行っている	82.3%	⑤あなたは、「学校教育目標」及び「育てたい生徒像」を理解している	61.6%
⑥私の家庭での学習（塾などを含む）は、充実している	67.3%	⑥学校は、生徒の健康・安全への配慮を行っている	71.1%
⑦私は、学校での委員会や係活動に積極的に取り組んでいる	82.3%	⑦学校は、生徒が主体的に取り組む部活動を行っている	57.7%
⑧私は、「学校教育目標」及び「育てたい生徒像」を知っている	52.2%	⑧あなたは、ふるさとの良さや大切さについて、子どもと話をしている	51.9%
⑨学校は、私たちの健康・安全への配慮を十分行っている	92.9%	⑨あなたは、子どもが SNS 等をルールやマナーを守って安心して使うため、家庭でルールを作るなどの取組を行っている	75.0%
⑩学校には、悩みが話せる友人や先生がいる	77.0%		
⑪学校での部活動は充実している（加入者のみ回答）	80.2%		

◇生徒については、肯定評価率が高く概ね評価できる結果となりました。特に、項目①の自己肯定感が昨年度から高まってきたことは大変うれしいことです。保護者や地域の大人が生徒に適切な評価（温かい言葉かけ）を行い、その良さに気づかせた成果だと感謝しています。

◇保護者については、評価の低い項目が目立ちます。学校のさらなる取組、及び学校からの情報発信に併せ、保護者の参画意識を高めていくことも大切だと感じています。例えば、項目③については、右グラフのように「わからない」の回答が約15%となっています。「3のつく日は学校開放日」とし、保護者や地域が授業の様子を参観できる仕組みがありますので、是非来校いただくと幸いです。学校と保護者がいかに連携して生徒の学びと育ちを支援していくかが重要となります。

3 学校は、「わかった」「できるようになった」を実感できる学習指導を行っている。



◇生徒・保護者共通の課題として、「学校教育目標」及び「育てたい生徒像」への理解（生徒⑧保護者⑤）が挙げられます。学校教育目標「ふるさとを愛し、幸せな未来を拓く生徒の育成」育てたい生徒像～自ら考え、判断し、行動する生徒～の具体的な姿を示していくことが必要だと感じました。今後、学校だよりや学校 HP でも示していきたいと思えます。是非、学校教育目標及び育てたい生徒像の実現にご協力ください。

◇生徒と保護者の回答状況のズレが起こっている項目（生徒②・保護者③、生徒⑤・保護者③、生徒⑥・保護者④）について、是非ご家庭でしっかりと会話をさせていただき、共有を図ることが大切です。よろしく願います。

◇上記の項目のほか、様々な気づきや意見をいただきました。それぞれの意見について、職員会議や学校運営協議会、PTA 役員会にも取り上げ課題を共有しました。

いただいた意見をもとに、具体的な方策を打ち出し実行するなど、今後の学校運営に生かしていきたいと思えます。アンケートへのご協力をいただき、ありがとうございました。